

◇…比較的できている点
◆…課題のある点

中学校国語

問題作成の趣旨

- ① 学習指導要領の理念、目標・内容等に基づくものとし、小学校の調査問題については小学校第5学年までに、中学校の調査問題については中学校第2学年までに十分に身に付け、活用できるようにしておくべきと考えられるものを、各領域等からバランスよく出題すること。
- ② 調査問題自体が学校の教員や児童生徒に対して土台となる基盤的な事項を具体的に示すものであり、教員による指導方法の改善や児童生徒の学習改善・学習意欲の向上等に役立てるという視点から、学習指導上、特に重視される点や身に付けるべき力を具体的に示すメッセージとなる問題を出題すること。
- ③ 「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」は、相互に関連し合いながら育成されるものという学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の改善等に資するよう、知識と活用を一体的に問うこと。
- なお、調査問題の構成（問題数、分野・領域、出題形式等）については、教科の特性に応じて柔軟に設計するものとする。
- ④ 児童生徒が全ての問題に十分にに取り組むことができるよう、問題の分量が調査時間（解答時間）に照らして適切なものとなるよう努めること。また、児童生徒の調査の負担に配慮すること。
- ⑤ 過去の調査で見られた課題を踏まえた問題も出題すること。

結果概要

◇漢字の書き取りや擬態語の効果など、言葉の特徴や使い方に関すること、文章構成の把握など基礎的な内容はよく理解できている。

◆互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめることに課題がある。

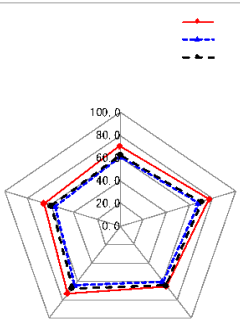
<分類・区分別集計結果>

集計結果

対象生徒数		王寺町立王寺南義務教育学校	奈良県（公立）	全国（公立）
		97	8,301	841,873

分類		区分	対象問題数 （問）	平均正答率（％）		
				貴校	奈良県（公立）	全国（公立）
全体			15	69	61	63.9
学習指導 要領の 内容	知識及び 技能	(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5	70.1	61.2	63.0
		(2) 情報の扱い方に関する事項	1	77.3	67.8	70.4
		(3) 我が国の言語文化に関する事項	0			
	思考力、 判断力、 表現力等	A 話すこと・聞くこと	3	65.6	60.0	63.9
		B 書くこと	3	72.9	64.0	67.4
		C 読むこと	3	65.6	56.4	59.7
評価の観点	知識・技能	6	71.3	62.3	64.2	
	思考・判断・表現	9	68.0	60.1	63.7	
	主体的に学習に取り組む態度	0				
問題形式	選択式	9	77.9	70.6	72.7	
	短答式	3	62.5	53.1	55.8	
	記述式	3	50.5	40.0	45.5	

<学習指導要領の内容の平均正答率の状況>



学習指導要領の領域・内容別の主な特徴と指導改善のポイント

A 話すこと・聞くこと

- ◆「二つの意見を両方取り上げる」という条件で、文章を書く機会がなかった。
→授業等で指導されていない学習内容に対する応用力に課題がある。
- ◆問題文の読み取りが甘く、条件が多いと、条件の見落としが多くなる。
→書くべき条件をすべて踏まえて書くことに課題がある。

具体的な設問例 (大問 2 (四))

【話し合いの一部】で山下さんは、——線部④「『美しい歌声を響かせよう』という目標に向けて練習するために、学級の人々にどのように伝えたらよいでしょうか。」と投げかけています。これを受けて、あなたならどのような意見を述べますか。次の条件1と条件2にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

なお、読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

条件1 学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと。

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと。

[illegible]

左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。

条件1 学校のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと

条件2 条件1について、大森さんと石川さんの意見の両方を取り上げながら書くこと

条件1 学級のみんなにどのように伝えたらよいかについて、自分の考えと理由を書くこと。

四 「話し合いの部」で山下さんは、――級部④「美しい歌声を響かせよう」という目標に向けて練習するために、学級のみならず、なにとのうに伝えたらよいでしょうか。」と投げかけています。これをうけて、あなたならどのような意見を述べますか。次の条件①と条件②にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

条件①と条件②にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい。

なお、誤記で文章を直したいときは、二本線で消したり行間を書き加えたりしてもかまいません。

条件1と条件2にしたがって、この場の三人に実際に話すように書きなさい

なれ、読み返して文章を直したときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

正答率：50.5%

指導改善のポイント

- ・国語科にとどまらず、様々な場面をとらえて書く機会を設ける。
- ・質問に応じた答え方をする学習を続ける。
- ・様々な条件を課して、条件に応じた文章を書けるように徹底する。